学校番号	315

令和８年度　地理歴史科

教　科	地理歴史	科 目	（学）地理実践	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	地理探究（山川出版社）　／　高等地図帳（山川出版社） ※ 双方とも科目「地理探究」で使用しているもの						
副教材等	地理統計要覧 2026 年版・vol.66（二宮書店） ／　Winning COM.-PASS　地理の整理と演習　2026 年度用（とうほう） ※ 上記双方とも科目「地理探究」で使用しているもの						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「地理探究」の学習内容をより深く学び、応用的な内容を取り扱う授業である。

・テーマ別学習を通じて、地理の知識の再整理をおこない、系統的な内容を総合的に理解する。

2　学習の到達目標

２年次の「地理総合」で幅広く学んだ地理の基礎的な知識や技能等と、３年次現在「地理探究」で学習している内容を関連させて、地理で扱う諸事象について、具体的なテーマに沿って、地形図や風景写真の読み取り、グラフや図表の読み取り等も含めてさらに深化させ、実践的な力を育むことを目標とする。

・日本を含む世界の生活と文化の地域的な特色について、基本的に学んだ内容を深化させ、知識を身に着けている。

・地理的事象を世界的視野に立って多角的、多面的に考察するべく、グラフや図表の読み取り等を通じて、国際社会の変化に的確に対応でき、自らの意見を論理的に述べ、まとめる技能を身につけるようにする。

・地理的事象について高い関心を持ち、現代的な諸課題に対して課題意識を有しており、国家および社会の形成に積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地形図や風景写真の読み取り、グラフや図表の読み取り等を通じて、地理情報の収集・分析を地理総合の学習を踏まえて多面的に探究できる。 現代世界の地理的諸事象について、各単元の項目と関連しながら多様な視点をもって理解できる。	現代世界の地理的諸事象について、その事象の生まれる背景について多角的に捉え、他地域との比較の中で論理的に特性を考察できる。	日本も含めた世界の各地域の持つ課題を理解し、よりよい世界の構築に必要な条件について考察できる。 自分の行動やこれからの人間にとって必要なものごとを主体的に考えることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	系統地理	・地図投影法 ・時差 ・統計地図 ・地形図・地域調査 ・大地形 ・小地形（山地の地形・平野の地形・海岸の地形） ・その他の地形 ・気候要素と気候因子 ・気候区分 ・各気候区の特徴 ・陸水と海洋 ・日本の自然環境と防災 ・地球環境問題	a：さまざまな分野から、地理情報の収集・分析を地理総合の学習を踏まえて多面的に探究できている。 地理的諸事象について、各単元の項目と関連しながら多様な視点をもって理解している。 b：地理的諸事象について、その事象の生まれる背景について多角的・多角的に捉え、他地域との比較の中で論理的に特性を考察している。 c:日本も含めた世界の各地域の持つ課題を理解し、よりよい世界の構築に必要な条件について考察している。 自分の行動やこれからの人間にとって必要なものごとを主体的に考えている。	定期考査	定期考査 ワークシート	レポート 授業での取り組みや発言などの学習状況
2学期		・農牧業 ・各農牧業の特徴 ・日本の農業 ・農作物と食料問題 ・林産資源 ・世界と日本の水産業 ・エネルギー資源と電力 ・鉱産資源 ・工業の発展と立地 ・各種の工業 ・日本の工業 ・産業別人口構成と消費活動		定期考査	定期考査 ワークシート	レポート 授業での取り組みや発言などの学習状況
3学期		・観光業 ・世界の交通・通信 ・世界と日本の貿易 ・世界の人口 ・人口問題 ・村落・都市の立地と発達 ・都市の拡大と地域分化 ・都市問題 ・衣食住 ・人種と人種問題 ・言語と宗教 ・民族問題		授業内での確認（小）ﾃｽﾄ	ワークシート	レポート 授業での取り組みや発言などの学習状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度